



Cisco Unified MeetingPlace Release 6.0 システム要件

Published May 31, 2007

このマニュアルでは、Cisco Unified MeetingPlace Release 6.0 のコンポーネントをインストールするための要件とその他の必要な情報を示します。次の各項は、特定の Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントに関する情報を示しています。

- [Cisco Unified MeetingPlace Audio Server 6.0 の要件 \(P.2 \)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace for IBM Lotus Notes 6.0 の要件 \(P.2 \)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace for Office Communicator の要件 \(P.5 \)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace for Microsoft Outlook 6.0 の要件 \(P.8 \)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 の要件 \(P.12 \)](#)

Audio Server Release 6.0 と他の Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントとの互換性については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_device_support_tables_list.html の『[互換性マトリクス : Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント](#)』を参照してください。



(注)

バージョン 5.4 の Cisco Unified MeetingPlace コンポーネントの要件については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html の『[System Requirements for Cisco Unified MeetingPlace Release 5.4](#)』を参照してください。それ以前のバージョンの要件については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_release_notes_list.html で該当するリリースノートを参照してください。



(注)

このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_uc_mp.shtml



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-14205-01-J

Cisco Unified MeetingPlace Audio Server 6.0 の要件

新しい Release 6.0 システムの場合、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server ソフトウェアは製造元でインストールされます。したがって、Audio Server ソフトウェアをインストールする必要はありません。

Cisco Unified MeetingPlace Audio Server ハードウェアがあり、Audio Server Release 5.3 または 5.4 ソフトウェアを使用している場合は、ソフトウェアをお客様ご自身で Audio Server Release 6.0 にアップグレードする必要があります（バージョン 5.2 を実行している Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムを直接 Release 6.0 にアップグレードすることはできません。まずバージョン 5.4 にアップグレードしてから、6.0 にアップグレードする必要があります）。

- Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムには、Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズサーバが必要です。

Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズサーバの環境要件およびハードウェア仕様については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_installation_guides_list.html の『Cisco Unified MeetingPlace Audio Server インストールアップグレードガイド Release 6.x』の「Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズの取り付け準備」の章を参照してください。

- Cisco Unified MeetingPlace Audio Server は、オートネゴシエーション用に設定されているネットワークスイッチポートに接続する必要があります。Cisco Unified MeetingPlace ゲートウェイは、100/1000 MB 全二重に設定されているネットワークスイッチポートに接続する必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace Audio Server が Cisco Unified MeetingPlace H.323/SIP Gateway と共に Cisco Unified CallManager を使用するように設定されており、Cisco Unified MeetingPlace H.323/SIP Gateway 上の Network Interface Card (NIC; ネットワーク インターフェイスカード) に複数の IP アドレスが設定されているか、または複数の NIC が存在する場合は、各 IP アドレスを Cisco Unified CallManager に登録する必要があります。登録しないと、Cisco Unified MeetingPlace Web インターフェイスからのアウトダイヤルが失敗する可能性があります。

Cisco Unified MeetingPlace for IBM Lotus Notes 6.0 の要件

Release 6.0 の新規インストールでは、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション専用の Cisco Media Convergence Server (MCS) が必要です。ハードウェア構成は、使用するシステムの音声および Web 会議ユーザライセンス（ポート）数に基づきます。

この項を参照する場合は、次の点に注意してください。

- マシンに Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 をインストールしてから、Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes Release 6.0 をインストールする必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes Release 6.0 は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing と同じディレクトリにインストールする必要があります（たとえば、Web Conferencing を C:\Program Files\Cisco Systems にインストールした場合は、Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes も Cisco Systems ディレクトリにインストールします）。

この項には、次の情報を示します。

- [Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes の要件 \(P.3\)](#)
- [Segmented Meeting Access の要件 \(P.4\)](#)
- [WebConnect の要件 \(P.4\)](#)
- [エンドユーザの要件 \(P.5\)](#)

Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes の要件

表 1 Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes 6.0 の要件



コンポーネント	要件
統合サーバマシン (これは、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 をインストールしたマシンです)	<p>ハードウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Media Convergence Server (MCS)、あるいは HP 製または IBM 製の完全な同等品で、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション専用のマシン。必要な MCS の数は、使用する Cisco Unified MeetingPlace システムの音声および Web 会議ユーザライセンス (ポート) 数によって異なります。 <p> (注) Cisco MCS については、http://www.cisco.com/en/US/partner/products/hw/voiceapp/ps378/index.html を参照してください。</p> <p>Cisco MCS-7835-H1-RC1、MCS-7835-H2-RC1、MCS-7835-I1-RC1、または MCS-7835-I2-RC1。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声ユーザライセンス数が 480 以下のシステム向け。 - 最大 50 の Web 会議ユーザライセンスをサポート。 <p>Cisco MCS-7845-H1-RC1、MCS-7845-H2-RC1、MCS-7845-I1-RC1、または MCS-7845-I2-RC1。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声ユーザライセンス数が 1,152 以下のシステム向け。 - サーバごとに最大 500 の Web 会議ユーザライセンスをサポート。 - Web 会議ユーザライセンス数が 50 を超える場合は、Cisco Unified MeetingPlace 統合アプリケーション(たとえば、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook、SMTP E-Mail Gateway)を、Web 会議専用の MCS 7845 に移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • Web 会議ユーザライセンス数が 200 増えるごとに、専用の MCS 7845 を 1 つ追加します。 <p>オペレーティングシステム</p> <p>Cisco MCS OS 2003.1.1 以降。</p> <p>ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 がインストールされ、動作していること。 (Release 6.0 は、Web Conferencing バージョン 4.2.7、4.3、5.3、および 5.4 の参加 (click-to-attend) リンクをサポートしています) • Lotus Notes クライアント バージョン 6.03、6.04、6.05、6.52、6.53、6.54、6.55、または 7.01。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Information Server (IIS) バージョン 6.0。 Microsoft IIS 6.0 は、オペレーティングシステムのインストール時に Cisco MCS にインストールされ、設定されます。 • Lotus Notes テンプレート 6.03、6.04、6.05、6.52、6.53、6.54、6.55、または 7.01。
Lotus Domino サーバ	<p>Domino バージョン 6.0x、6.5x、または 7.0x。</p> <p> (注) Domino サーバと Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes 6.0 は、別のマシン上に存在する必要があります。Domino は Windows マシン上で動作する必要があります。</p>

表 1 Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes 6.0 の要件 (続き)

コンポーネント	要件
Audio Server	<p>ハードウェア</p> <p>Cisco Unified MeetingPlace 8112 サーバまたは Cisco Unified MeetingPlace 8106 サーバ。</p> <p>ソフトウェア</p> <p>Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 6.0。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセスポート (音声)。 • Cisco Unified MeetingPlace WebPublisher オプション キー。 • Cisco Unified MeetingPlace データ会議オプション キー(アプリケーション共有およびプレゼンテーションに必要)。 • Cisco MeetingNotes データ オプション キー (プレゼンテーションおよび添付に必要)。 • Cisco MeetingNotes 音声オプション キー (会議の記録に必要)。 • Cisco Unified MeetingPlace Video Integration オプション キー (ビデオ会議に必要)。

Segmented Meeting Access の要件

Release 6.0 は、外部アクセスのために Segmented Meeting Access - 2 Server (SMA-2S) 展開をサポートしています。



(注) Segmented Meeting Access - 1 Server(SMA-1S)展開は、Release 6.0 でサポートされなくなりました。

追加のシステム要件については、P.12 の「Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 の要件」を参照してください。

SMA 展開の詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/products_installation_and_configuration_guides_list.html の『Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing コンフィギュレーションガイド』にある「Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing への外部アクセスの設定」の章を参照してください。

WebConnect の要件

WebConnect を使用すると、複数の内部および外部 Web 会議サーバを 1 つの URL でシームレスに統合できます。

追加のシステム要件については、P.12 の「Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 の要件」を参照してください。

エンド ユーザの要件

Release 6.0 は、表 2 に示すようなサードパーティ環境に対応しています。この表に記載されている Service Pack (SP; サービスパック) は、必要最小限のものです。記載されているものより後のサービスパックは、特記されていない限り、正常に動作するものと想定されます。

表 2 Cisco Unified MeetingPlace for Lotus Notes 6.0 のエンド ユーザの要件

オペレーティングシステム	要件
Windows	<ul style="list-style-type: none"> • Windows ME、Windows 2000 Professional、Windows 2000 Server Edition (SP 2)、Windows 2000 Advanced Server Edition (SP 2)、または Windows XP オペレーティングシステム。 • Lotus Notes クライアントバージョン 5.0.13、6.0.3、6.0.4、または 6.5.2。 • Lotus Notes テンプレート 5.0.13、6.0.3、6.0.4、または 6.5.2。 <ul style="list-style-type: none"> - Domino サーバ R5 のユーザは、Lotus Notes バージョン 5.0.13 のクライアントおよびテンプレートが必要です。 - Domino サーバ R6 のユーザは、Lotus Notes バージョン 6.0.3 または 6.0.4 のクライアントおよびテンプレートが必要です。 - Domino サーバ R6.5 のユーザは、Lotus Notes バージョン 6.5.2 のクライアントおよびテンプレートが必要です。

Cisco Unified MeetingPlace for Office Communicator の要件

Release 6.0 の新規インストールでは、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション専用の Cisco Media Convergence Server (MCS) が必要です。ハードウェア構成は、使用するシステムの音声および Web 会議ユーザライセンス (ポート) 数に基づきます。

この項を参照する場合は、次の点に注意してください。

- マシンに Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 をインストールしてから、Cisco Unified MeetingPlace Office Communicator Release 6.0 をインストールする必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace Office Communicator Release 6.0 は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing と同じディレクトリにインストールする必要があります (たとえば、Web Conferencing を C:\Program Files\Cisco Systems にインストールした場合は、Cisco Unified MeetingPlace Office Communicator も Cisco Systems ディレクトリにインストールします)。
- Cisco Unified MeetingPlace LCS Gateway は、WebConnect 機能をサポートしていません (WebConnect は、サイトが使用できなくなった場合に、サイト間のロールオーバーを提供します)。MOC クライアントから開始される会議は、Cisco Unified MeetingPlace LCS Gateway が存在するサイトを常に使用します。

この項には、次の情報を示します。

- [Cisco Unified MeetingPlace for Office Communicator の要件 \(P.6 \)](#)
- [エンド ユーザの要件 \(P.7 \)](#)

Cisco Unified MeetingPlace for Office Communicator の要件

表 3 Cisco Unified MeetingPlace Office Communicator 6.0 の要件




コンポーネント	要件
統合サーバマシン (これは、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 をインストールしたマシンです)	<p>ハードウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Media Convergence Server (MCS)、あるいは HP 製または IBM 製の完全な同等品で、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション専用のマシン。必要な MCS の数は、使用する Cisco Unified MeetingPlace システムの音声および Web 会議ユーザライセンス (ポート) 数によって異なります。 <p> (注) Cisco MCS については、http://www.cisco.com/en/US/partner/products/hw/voiceapp/ps378/index.html を参照してください。</p> <p>Cisco MCS-7835-H1-RC1、MCS-7835-H2-RC1、MCS-7835-I1-RC1、または MCS-7835-I2-RC1。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声ユーザライセンス数が 480 以下のシステム向け。 最大 50 の Web 会議ユーザライセンスをサポート。 <p>Cisco MCS-7845-H1-RC1、MCS-7845-H2-RC1、MCS-7845-I1-RC1、または MCS-7845-I2-RC1。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声ユーザライセンス数が 1,152 以下のシステム向け。 サーバごとに最大 500 の Web 会議ユーザライセンスをサポート。 Web 会議ユーザライセンス数が 50 を超える場合は、Cisco Unified MeetingPlace 統合アプリケーション(たとえば、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook、SMTP E-Mail Gateway)を、Web 会議専用の MCS 7845 に移動します。 <ul style="list-style-type: none"> Web 会議ユーザライセンス数が 200 増えるごとに、専用の MCS 7845 を 1 つ追加します。 <p>オペレーティングシステム</p> <p>Cisco MCS OS 2003.1.1 以降。</p> <p>ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 がインストールされ、動作していること。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Internet Information Server (IIS) バージョン 6.0。 Microsoft IIS 6.0 は、オペレーティングシステムのインストール時に Cisco MCS にインストールされ、設定されます。 Microsoft .NET 2.0。 Microsoft .NET 2.0 は、オペレーティングシステムのインストール時に Cisco MCS にインストールされ、設定されます。
Microsoft Live Communications Server (LCS)	LCS 2005 Standard Edition または Enterprise Edition。

表 3 Cisco Unified MeetingPlace Office Communicator 6.0 の要件 (続き)

コンポーネント	要件
Directory Services	<p>ハードウェア</p> <p>サポートされている Cisco MCS あるいは HP 製または IBM 製の完全な同等品を使用している必要があります。</p> <p> (注) サポートされている Cisco MCS を使用しておらず、また、レガシーとして HP 製または IBM 製の同等品も使用していない場合は、サポートされている Cisco MCS で新規インストールとして Release 5.4 をインストールする必要があります。Cisco MCS の仕様については、http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/index.html を参照してください。</p> <p>オペレーティング システム</p> <p>Cisco MCS OS 2003.1.1 以降。</p> <p>ソフトウェア</p> <p>Cisco Unified MeetingPlace Directory Services Release 5.4。</p> <p> (注) Directory Services 5.4 にアップグレードする方法の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Directory Services アドミニストレーション ガイド Release 5.4』の「Cisco Unified MeetingPlace Directory Services のアップグレード」の章を参照してください。</p>
Audio Server	<p>ハードウェア</p> <p>Cisco Unified MeetingPlace 8112 サーバまたは Cisco Unified MeetingPlace 8106 サーバ。</p> <p>ソフトウェア</p> <p>Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 6.0。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクセス ポート (音声)。 • Cisco Unified MeetingPlace for Office Communicator オプション キー。 • Cisco Unified MeetingPlace WebPublisher オプション キー。 • Cisco Unified MeetingPlace データ会議オプション キー(アプリケーション共有およびプレゼンテーションに必要)。 • Cisco MeetingNotes データ オプション キー (プレゼンテーションおよび添付に必要)。 • Cisco MeetingNotes 音声オプション キー (会議の記録に必要)。 • Cisco Unified MeetingPlace Video Integration オプション キー (ビデオ会議に必要)。

エンド ユーザの要件

表 4 Cisco Unified MeetingPlace for Office Communicator 6.0 のエンド ユーザの要件

オペレーティング システム	要件
Windows	Microsoft Office Communicator 1.x

Cisco Unified MeetingPlace for Microsoft Outlook 6.0 の要件

この項には、次の情報を示します。

- [Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の要件 \(P.8\)](#)
- [キャパシティ情報 \(P.11\)](#)

Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の要件

表 5 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook 6.0 の要件

System	要件
Microsoft Exchange Server	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 Server (Service Pack 2) または Exchange Server 2003 がインストールされ、動作していること。 • 関連付けられた Exchange メールボックスを持つ Windows ユーザ アカウント。これは、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook 用の Exchange メールボックスとなります。次の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none"> - Windows ユーザ アカウントは Local Administrator 権限を持ち、そのアカウントのユーザ名とパスワードは Cisco Unified MeetingPlace for Outlook メールボックスのユーザ名とパスワードに一致する必要があります(デフォルトの Outlook メールボックスを設定する手順については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_maintenance_guides_list.html の『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレーションガイド』を参照してください)。このアカウントでログインして、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をインストールします。 - ログインしたユーザは、デフォルトの Outlook プロファイルにアクセスできる必要があります。 - この Exchange メールボックスは、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をインストールする前に設定する必要があります。 - Exchange サーバと Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サービス コンポーネントは、別のシステム上に存在する必要があります。
Cisco Unified MeetingPlace 8100 シリーズ Audio Server	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 6.0。 • Audio Server がインストールされ、Calendar オプション キーと Notification オプション キーが有効な状態で動作している必要があります (これらのオプション キーを有効にする方法については、『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレーションガイド Release 6.0』を参照してください)。 • 複数の Cisco Unified MeetingPlace サーバが存在する場合は、各サーバに独自の Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サーバが必要です。

表 5 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook 6.0 の要件 (続き)


System	要件
Windows サーバ (ハードウェア要件)	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をドメイン コントローラにインストールしないでください。 • Cisco Unified MeetingPlace Audio Server への TCP/IP 接続が必要です。 • Cisco Media Convergence Server (MCS)、あるいは HP 製または IBM 製の完全な同等品で、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション専用のマシン。必要な MCS の数は、使用する Cisco Unified MeetingPlace システムの音声および Web 会議ユーザライセンス (ポート) 数によって異なります。 <p> (注) Cisco MCS については、 http://www.cisco.com/en/US/partner/products/hw/voiceapp/ps378/index.html を参照してください。</p> <p>Cisco MCS-7835-H1-RC1、MCS-7835-H2-RC1、MCS-7835-I1-RC1、または MCS-7835-I2-RC1。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声ユーザライセンス数が 480 以下のシステム向け。 - 最大 50 の Web 会議ユーザライセンスをサポート。 <p>Cisco MCS-7845-H1-RC1、MCS-7845-H2-RC1、MCS-7845-I1-RC1、または MCS-7845-I2-RC1。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 音声ユーザライセンス数が 1,152 以下のシステム向け。 - サーバごとに最大 500 の Web 会議ユーザライセンスをサポート。 - Web 会議ユーザライセンス数が 50 を超える場合は、Cisco Unified MeetingPlace 統合アプリケーション (たとえば、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook、SMTP E-Mail Gateway) を、Web 会議専用の MCS 7845 に移動します。 <ul style="list-style-type: none"> • Web 会議ユーザライセンス数が 200 増えるごとに、専用の MCS 7845 を 1 つ追加します。

表 5 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook 6.0 の要件 (続き)

System	要件
Windows サーバのソフトウェア要件	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco MCS OS 2003.1.1 以降 (MCS サーバのオペレーティング システムをインストールおよび設定する手順については、 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_maintenance_guides_list.html の『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレーションガイド』を参照してください)。 オペレーティング システムのアップデートおよびパッチは、シスコシステムズから提供されるものだけを適用してください。Microsoft から直接入手して Cisco MCS サーバに適用されたアップデートについては、サーバの動作に悪影響を及ぼすので、サポートされていません。 • Cisco MCS または Microsoft Windows サーバ上で、フル機能または Client Services のみ(通知サービス以外)を使用するには、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 が必要です。 • Web Conferencing が「Internal (Full Access)」インストールとしてインストールされ、プライマリ Cisco Unified MeetingPlace Web サーバとして動作している必要があります。 • 次のいずれかの Microsoft Outlook クライアントがインストールされ、Exchange メールボックスにログインするように設定されている必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> - Outlook 2003 - Outlook 2000 (Service Release 1 および Service Pack 3) <p>Collaboration Data Objects (CDO) がインストールされている必要があります。Outlook 2003 または Outlook 2000 で、セットアップ中にオプションとして CDO を選択します。CDO はデフォルトでロードされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このコンピュータのデフォルトのメール クライアントが、Outlook に設定されている必要があります。 • Outlook クライアントが、ローカル ドライブに完全にインストールされている必要があります。ネットワーク インストールはサポートされていません。 • Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は、「シンクライアント」(Citrix または Terminal Server) をサポートしていません。 • Windows ログインが、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サービスで指定されるログインと同じである必要があります。 • Windows サーバと Exchange サーバは、相互に信頼関係がない限り、同じドメインに属している必要があります。 • ディレクトリ サービスを使用して自動認証を行うには、Network Credentials フィールドを実装して Cisco Unified MeetingPlace Directory Services Release 5.4 がインストールされている必要があります (自動認証の詳細については、 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/ps5664/ps5669/prod_maintenance_guides_list.html の『Cisco Unified MeetingPlace for Outlook アドミニストレーションガイド』に記載されている ConfigClient ユーティリティの Logins タブの説明を参照してください)。 Cisco Unified MeetingPlace のユーザ名は、大文字と小文字が区別されます。すべてのログインを小文字で作成することをお勧めします。

表 5 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook 6.0 の要件 (続き)

System	要件
ネットワーク要件	<p>Windows サーバが Cisco Unified MeetingPlace Audio Server と通信するには、次の要件が満たされている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続された PCI 環境では、Windows サーバは、プライマリ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に接続する場合はポート 5003 で、追加の各 Audio Server に接続する場合はポート 5005 で TCP 接続を開くことができる必要があります。 スタンドアロンの PCI または 8100 シリーズ環境では、Windows サーバは、プライマリ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server に接続する場合にポート 5003 および 5005 で TCP 接続を開くことができる必要があります。 Windows サーバと通信する場合、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の IP アドレスがネットワーク アドレス変換スキームによって変換されないようにする必要があります。 Windows サーバとそのホストの Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の間の接続は、高品質を確保し、トラフィックの輻輳によって中断されないようにする必要があります。往復の遅延が 100 ms を超えるか、1% を超えるパケット損失があると、サービス品質が著しく低下する可能性があります。
エンド ユーザ システム	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windows ME、Windows 2000 Professional、Windows 2000 SE Service Pack 2、Windows 2000 AS Service Pack 2、Windows XP、または Windows Server 2003。 Cisco Unified MeetingPlace for Outlook への HTTP 接続。 Microsoft Outlook 2000 (SR 1)、XP、または 2003。 Microsoft Outlook および Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のエンド ユーザの要件を満たす CPU、ハードディスク領域、および RAM。

キャパシティ情報

フル キャパシティで動作する 1 つの Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の場合は、1 つの Cisco Unified MeetingPlace for Outlook サーバで十分です。

MCS 7845 上で動作する Cisco Unified MeetingPlace for Outlook は、1 時間あたり約 2,700 ~ 5,400 のエンド ユーザ要求をサポートできます。ユーザが Cisco Unified MeetingPlace for Outlook に関連する予定表の予定にアクセスするたびに、つまり、ユーザが Cisco Unified MeetingPlace 会議に関連付けられている予定を開くか、または予定の MeetingPlace タブをクリックすると、要求が発生します。プランニングの目的で、使用頻度の高い場合として、ユーザ 1 人あたり 1 時間ごとに約 2 つの要求を見積る必要があります。

上記のガイドラインを超えて使用すると、パフォーマンスが低下する可能性があります。

公表されている最大キャパシティまで Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing サーバを使用すると予想される場合は、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook を別のサーバにインストールする必要があります。それ以外の場合は、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing と同じサーバに Cisco Unified MeetingPlace for Outlook をインストールします。

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 の要件

この項には、次の情報を示します。

- [ハードウェア要件 \(P.12\)](#)
- [ネットワーク要件 \(P.13\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P.14\)](#)
- [ロード バランシングの要件 \(P.16\)](#)
- [Segmented Meeting Access の要件 \(P.17\)](#)
- [WebConnect の要件 \(P.18\)](#)
- [エンド ユーザの要件 \(P.19\)](#)
- [アップグレードの要件 \(P.21\)](#)

アメリカ英語以外の各国語展開を使用する場合は、[P.15](#) の「[統合の要件 : Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway](#)」に記載されている Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway の要件を参照してください。

ハードウェア要件

この項では、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 のハードウェア要件について説明します。

- [Web サーバの要件 \(P.12\)](#)
- [Audio Server の要件 \(P.13\)](#)

Web サーバの要件


Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing システムは、ハードウェア サーバにロードされるソフトウェア製品です。Web Conferencing の新規インストールでは、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション専用の Cisco MCS が必要です。

Cisco MCS については、<http://www.cisco.com/en/US/partner/products/hw/voiceapp/ps378/index.html> を参照してください(このページにアクセスするには、Cisco.com のユーザ名とパスワードが必要です)。

[表 6](#) に、サポートされている Cisco 7800 シリーズ Media Convergence Server モデルを示します。Cisco MCS サーバには、DVD-ROM ドライブ、キーボード、マウス、およびモニタが必要です。

完全に同等なサードパーティ製サーバもサポートされています。詳細については、<http://www.cisco.com/go/swonly> を参照してください。

表 6 サポートされている Cisco 7800 シリーズ MCS モデル

System	音声会議キャパシティ	Web 会議キャパシティ
Cisco MCS-7835-H2-RC1 Cisco MCS-7835-I2-RC1 Cisco MCS-7835-H1-RC1 Cisco MCS-7835-I1-RC1	サーバごとに最大 480 の音声ユーザ ライセンス。	サーバごとに最大 50 の Web 会議ユーザ ライセンス。
Cisco MCS-7845-H2-RC1 Cisco MCS-7845-I2-RC1 Cisco MCS-7845-H1-RC1 Cisco MCS-7845-I1-RC1	サーバごとに最大 1,152 の音声ユーザ ライセンス。	サーバごとに最大 500 の Web 会議ユーザ ライセンス。 Web 会議ユーザ ライセンス数が 50 を超える場合は、Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション (たとえば、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway) を、Web 会議専用の MCS 7845 に移動します。  (注) Web 会議ユーザ ライセンス数が 500 増えるごとに、専用の Cisco MCS 7845 を 1 つ追加します。

追加の要件

- 2.5 GB を超える空き領域のある NT File System (NTFS; NT ファイル システム)
- 基本レベルを超える記録が予想される 1 時間ごとの 700 MB の追加ディスク領域。詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing コンフィギュレーションガイド Release 6.x』の「最適データ ストレージのための Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の設定」の章の「Web Conferencing のデータ ストレージについて」の項を参照してください。

Audio Server の要件

フル機能を使用するには、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing が Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムに接続されている必要があります。Audio Server ソフトウェア コンポーネントは、Cisco Unified MeetingPlace 8112 サーバ上または Cisco Unified MeetingPlace 8106 サーバ上に存在する必要があります。

ネットワーク要件

Web サーバが Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムと通信できるように、システムが次の要件を満たしていることを確認します。

- TCP ポート 5003 および 5005 が、Web サーバと Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システム (存在する場合は、プライマリ サーバおよびシャドウ サーバ) の間で双方向に開いていること。
- Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムは Web サーバへのリバース接続を開始できるため、その場合は Web サーバから Audio Server の方向でポート 5003 を開く必要はありません。リバース接続を開始するには、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のインストール時に MeetingPlace サーバ名を IP アドレスではなくホスト名として入力する必要があります。また、この Web サーバユニットを Audio Server に手動で設定する必要があります。
- Web サーバとそのホストの Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムの間の接続が高品質であり、トラフィックの輻輳によって中断されないこと。往復の遅延が 100 ms を超えるか、1% を超えるパケット損失があると、サービス品質が著しく低下する可能性があります。
- Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムは、オートネゴシエーション用に設定されているネットワーク スイッチ ポートに接続されている必要があります。

- Cisco Unified MeetingPlace ゲートウェイは、100/1000 MB 全二重に設定されているネットワーク スイッチ ポートに接続されている必要があります。

Web Conferencing で、次の追加のネットワーク要件も満たされる必要があります。

- Web サーバに、同じサブネット上の 2 つのスタティック IP アドレスが設定されている必要があります。
- SQL がリモートにインストールされている場合は、TCP ポート 1433 が Web Conferencing サーバと SQL Server の間で双方向に開いている必要があります。

ソフトウェア要件

この項では、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 システムのソフトウェア要件について説明します。

- [Web サーバのソフトウェア要件 \(P.14\)](#)
- [統合の要件：Cisco Unified MeetingPlace Audio Server \(P.15\)](#)
- [統合の要件：Cisco Unified MeetingPlace for Outlook \(P.15\)](#)
- [統合の要件：Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway \(P.15\)](#)
- [統合の要件：Jabber Server \(P.15\)](#)
- [\(オプション\) 統合の要件：サードパーティの音声変換と再生 \(P.15\)](#)

Web サーバのソフトウェア要件

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing ソフトウェアは、Cisco MCS オペレーティング システム上で動作します。このオペレーティング システムは、このアプリケーションに付属しています。Web Conferencing Release 6.0 には、Cisco MCS OS 2003.1.1 以降が必要です。

追加の Windows 要件

- Microsoft Internet Information Server (IIS) 6.0。
これは、オペレーティング システムのインストール時に Cisco MCS にインストールされ、設定されます。
- すべてのコーポレート フォントおよび Microsoft 標準フォント (Microsoft PowerPoint フォントを含む) がインストールされていること。

SQL Server の要件

Microsoft SQL Server 2000 および Service Pack 4 は、Web Conferencing 6.0 インストーラに付属しています。ローカル SQL Server インストール オプションを選択すると、これらの必須コンポーネントが Cisco MCS に自動的にインストールされます。



(注)

- リモート SQL Server オプションを使用して Web Conferencing を展開する場合は、Web Conferencing をインストールする前に SQL Server 2000 Service Pack 4 をインストールする必要があります。
- Web Conferencing は大文字と小文字を区別しない SQL Server 構成だけをサポートするため、SQL Server を手動でインストールする必要がある場合は、SQL Server をインストールして大文字と小文字を区別しないように設定する必要があります。大文字と小文字を区別するように SQL Server を設定すると、Web Conferencing が正しく機能しません。

統合の要件 : Cisco Unified MeetingPlace Audio Server

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 には、8106 サーバまたは 8112 サーバ上に存在する Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 6.0 が必要です。

追加の要件

- アクセスポート (音声)
- Cisco Unified MeetingPlace WebPublisher オプションキー
- Cisco Unified MeetingPlace データ会議オプションキー (アプリケーション共有およびプレゼンテーションに必要)
- Cisco MeetingNotes データ オプションキー (プレゼンテーションおよび添付に必要)
- Cisco MeetingNotes 音声オプションキー (会議の記録に必要)
- Cisco Unified MeetingPlace Video Integration オプションキー (ビデオ会議に必要)

統合の要件 : Cisco Unified MeetingPlace for Outlook

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing 6.0 には、Cisco Unified MeetingPlace for Outlook Release 6.0 が必要です。

Web Conferencing と Cisco Unified MeetingPlace for Outlook の両方を同時にアップグレードする必要があります。

統合の要件 : Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 には、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway Release 5.4 が必要です。

統合の要件 : Jabber Server

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 には、Sun Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2.xx を搭載した Jabber XCP 4.2 サーバにインストールされている Cisco Unified MeetingPlace Jabber Integration 6.0 が必要です。

(オプション) 統合の要件 : サードパーティの音声変換と再生

音声変換

- 音声ファイルを MP3、WAV、または WMA 形式に変換する場合、サードパーティの音声サービスは不要です。Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、内部の音声サービスコンポーネントおよび組み込みエンコーダを使用して、音声添付をこれらの形式に変換します。

ストリーム再生

- Windows Media Services

インストール手順および設定手順の詳細については、『Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing コンフィギュレーションガイド Release 6.x』の「最適データストレージのための Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing の設定」の章の「Windows Media Server を設定する」の項を参照してください。

ロード バランシングの要件

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing ロード バランシングでは、アルゴリズム方式を利用して、Web サーバクラスタ内で Web 会議要求を均等に分散させます。次の項では、ロード バランシング構成用の追加の要件を示します。

Audio Server の要件

- 内部および外部クラスタ内のすべての Web サーバが、同じ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムをポイントする必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace アプリケーション（たとえば、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway）を実行している最大 16 の Cisco MCS を、同じ Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システムに接続できます。

内部 Web サーバクラスタの要件

ロード バランシング構成に内部 Web サーバクラスタが含まれている場合は、次の点を確認します。

- 内部クラスタ内のすべての Web サーバが、1 つの SQL Server データベースを共有する必要があります。
- 内部クラスタ内のすべての Web サーバが、添付用の共有ストレージ ロケーションにアクセスできる必要があります。
- Server Location で Internal (Full Access) オプションを選択して、各サーバ（内部 Web サーバ 1、内部 Web サーバ 2 など）に順次 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールします。
- 内部クラスタ内のすべての Web サーバが、同じ展開設定および構成（たとえば、同じ Replication Service パラメータと Audio Service パラメータ）を持っていることを確認します。

外部 Web サーバクラスタの要件

ロード バランシング構成に外部 Web サーバクラスタが含まれている場合は、次の点を確認します。

- 外部クラスタ内のすべての Web サーバが、1 つの SQL Server データベースを共有する必要があります。



(注) 内部クラスタと外部クラスタが別のデータベースを使用することを確認してください。

- 外部クラスタ内のすべての Web サーバが、共有ストレージ ロケーション（添付用）にアクセスできる必要があります。
- Server Location で External (Limited Access) オプションを選択して、各サーバ（外部 Web サーバ 1、外部 Web サーバ 2 など）に順次 Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing をインストールします。
- 外部クラスタ内のすべての Web サーバが、同じ展開設定および構成（たとえば、同じ Replication Service パラメータと Audio Service パラメータ）を持っていることを確認します。

混在クラスタの要件

混在クラスタには、内部クラスタと外部クラスタが少なくとも 1 つずつ含まれています。ロード バランシング構成に混在クラスタが含まれている場合は、次の点を確認します。

- 内部 Web サーバクラスタおよび外部 Web サーバクラスタのすべての要件が満たされている必要があります。
- 内部クラスタのデータベースと外部クラスタのデータベースに同じ GUIDS が含まれている必要があります。

ポート アクセスの要件

- ロード バランシング クラスタでは、TCP ポート 8506 および 8507 が、各 Web Conferencing サーバ間で双方向に開いている必要があります。

Segmented Meeting Access の要件

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing は、外部アクセスのために Segmented Meeting Access - 2 Server (SMA-2S) 展開をサポートしています。

**(注)**

Segmented Meeting Access - 1 Server(SMA-1S)展開は、Release 6.0 でサポートされなくなりました。

Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing のハードウェアおよびソフトウェアの標準システム要件 (P.12 の「ハードウェア要件」および P.14 の「ソフトウェア要件」を参照)に加えて、次の要件があります。SMA-2S 展開を試行する前に、次の要件が満たされていることを確認してください。

ハードウェア要件

- 2 つの単体の Cisco MCS、または 2 つの Cisco MCS クラスタ (ロード バランシングを実装する場合)
 - 1 つのサーバまたはサーバ クラスタは、プライベート企業ネットワークの内部に配置され、内部 Web サーバとして機能します。
 - もう 1 つのサーバまたはサーバ クラスタは、ネットワーク セグメント (DMZ など) に配置され、外部 Web サーバとして機能します。

ソフトウェア要件

- 内部 Web サーバの場合、「Internal (Full Access)」サーバ ロケーション オプションでインストールされている Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0。
- 外部 Web サーバの場合、「External (Limited Access)」サーバ ロケーション オプションでインストールされている Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0。

DNS 設定の要件

- セグメント化された DNS の場合、同じホスト名が、内部 DNS では内部 Web サーバに解決され、外部 DNS では外部 Web サーバに解決される必要があります。
- セグメント化されていない DNS に対応するように通知テンプレートを設定する方法については、特定の Cisco Unified MeetingPlace 通知アプリケーションのアドミニストレーション ガイドを参照してください。
- 内部のホスト名および IP アドレスには、内部ネットワークからしかアクセスできないことを確認します。
- 外部のホスト名および IP アドレスには、内部ネットワークとインターネットの両方からアクセスできることを確認します。

ポート アクセスの要件

- DMZ と内部ネットワークの間で、次のポートが開いていることを確認します。
 - TCP ポート 5003 および 5005 が、Web サーバと Cisco Unified MeetingPlace Audio Server システム (存在する場合は、プライマリ サーバおよびシャドウ サーバ) の間で双方向に開いている必要があります。

ネットワークをリバース接続用に設定した場合 (Web サーバに MeetingPlace サーバの IP アドレスではなくホスト名が設定されている場合) Audio Server システムは、ポート 5003 の着信がブロックされていると、DMZ 内の Web サーバへのリバース接続を開始できます。

- インターネットから DMZ への着信で、次のポートが開いていることを確認します。
 - TCP ポート 80
 - TCP ポート 1627 (高性能の会議コンソールの場合は強く推奨)
 - TCP ポート 443 (SSL が実装されている場合)

追加の要件

- 内部サーバと DMZ サーバの間で同期された GUIDS
内部サーバと外部サーバのデータベースに同じ GUIDS が含まれている必要があります。

WebConnect の要件

WebConnect を使用すると、複数の Cisco Unified MeetingPlace システム間での Web スケジューリングおよび会議参加をシームレスにすることができます。WebConnect を設定する前に、システムが次の要件を満たしていることを確認します。



(注) UNIX システムでは、WebConnect 機能はサポートされていません。

Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の要件

- Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 の場合 : Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 6.0
- 次のように設定された Cisco Unified MeetingPlace MeetingTime Release 6.0
 - User profile > Sched only on scheduling home server?> No
 - User profile > Sched only on NS home site?> No
 - System Parameters > Allow Vanity Mtg IDs?> Yes

追加の要件

- Cisco Unified MeetingPlace イメージ内にあるすべてのサイトが、同じビルドレベル リリースの Cisco Unified MeetingPlace Audio Server を実行していることを確認します。
- サイト内のすべてのシステムが、同じシステム オプションと通知手段を持っていることを確認します。たとえば、MeetingNotes、Cisco Unified MeetingPlace SMTP E-Mail Gateway、Microsoft Outlook などです。
- 外部の専用サイトでは、VPN (T1 またはフレームリレー) を使用していることを確認します。
- ロールオーバー マップの設定では、すべてのユーザが 1 つのグループに割り当てられていることを確認します。



(注) すべてのグループを 1 つのロールオーバー マップに割り当てる必要があります (ロールオーバー マップに 1 つのサイトしかない場合でも)。

- Cisco Unified MeetingPlace Directory Services または同様のプロファイル同期手段を、専用サーバ上で展開している必要があります。

エンドユーザの要件

ユーザのワークステーションが、この項に記載されているクライアント要件を満たしていることを確認します。または、これらの要件をユーザに通知します。音声および Web 会議に参加するために、すべてのクライアントマシンに個別のインターネット アクセスおよびテレフォニー アクセスが実装されている必要があります。推奨される最小帯域幅は、56-K のモデム接続です。これより低速の接続では、Web 会議のパフォーマンスが低下する可能性があります。

記載されているサービス パック (SP) は、必要最小限のものです。記載されているものより後のサービス パック リリースは、特記されていない限り、正常に動作するものと想定されます。

- [クライアントの要件 : Microsoft Windows \(P.19 \)](#)
- [クライアントの要件 : Apple Mac \(P.20 \)](#)
- [クライアントの要件 : Sun Solaris \(P.20 \)](#)
- [クライアントの要件 : RedHat Linux \(P.21 \)](#)

クライアントの要件 : Microsoft Windows

表 7 サポートされている Web ブラウザ (Microsoft Windows オペレーティング システムのバージョン別)

オペレーティング システムのバージョン	サポートされている Web ブラウザ
Windows Vista	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 7.0 以降
Windows XP (SP1 以降)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 6.0 SP1 または SP2
Windows 2000 (SP2 以降)	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 • Mozilla Firefox 1.5 • Netscape 7.1

Cisco Unified MeetingPlace の Web 会議に参加するための要件

- Adobe Flash Player 6.0.79 以降。
- (オプション) WAV ファイル、WMA ファイル、または MP3 ファイルを再生するオーディオ プレーヤー。
- (オプション、ただし強く推奨) 直接着信アクセスのためにファイアウォール上で TCP ポート 1627 がクライアントからサーバ方向に開いていること。
このポートが開いていない場合、会議コンソールは、ポート 80 経由でトンネリングすることにより、やや遅い接続を確立します。

デスクトップ コンテンツおよびアプリケーションを共有するための要件

- Cisco Unified Presenter Add-In(Web Conferencing のホーム ページの Browser Test リンクから、または会議コンソール内からダウンロードできます)

ビデオ会議用の追加の要件

エンド ユーザ システムがビデオ会議用に設定されていることを確認するには、『Cisco Unified MeetingPlace Video Integration アドミニストレーション ガイド Release 5.4』を参照してください。

クライアントの要件 : Apple Mac

オペレーティング システム

OS 10.2、10.3、または 10.4。

Web ブラウザ

- Firefox 1.5。
- Mac Safari 1.1、1.2、または 2.0。

Cisco Unified MeetingPlace の Web 会議に参加するための要件

- Adobe Flash Player 6.0.79 以降。
- (オプション) WAV ファイル、WMA ファイル、または MP3 ファイルを再生するオーディオプレーヤー。
- (オプション、ただし強く推奨) 直接着信アクセスのためにファイアウォール上で TCP ポート 1627 がクライアントからサーバ方向に開いていること。

このポートが開いていない場合、会議コンソールは、ポート 80 経由でトンネリングすることにより、やや遅い接続を確立します。

デスクトップ コンテンツおよびアプリケーションを共有するための要件

- Cisco Unified Presenter Add-In(Web Conferencing のホーム ページの Browser Test リンクから、または会議コンソール内からダウンロードできます)。

クライアントの要件 : Sun Solaris

オペレーティング システム

Solaris 9 以降のリリース。

Web ブラウザ

- Firefox 1.5。

Cisco Unified MeetingPlace の Web 会議に参加するための要件

- Adobe Flash Player 7.0 以降。
UNIX システムでは、デスクトップからの画面共有およびファイル共有を使用できません。これらのシステム上のユーザは、ホワイトボードまたは会議添付の共有、共有ファイルの表示、および注釈の追加を行うことができますが、システム上のファイルを他の参加者と共有することはできません。
- (オプション) WAV ファイル、WMA ファイル、または MP3 ファイルを再生するオーディオプレーヤー。

クライアントの要件 : RedHat Linux

オペレーティング システム

RedHat 9 以降のリリース。

Web ブラウザ

- Firefox 1.5 以降。

Cisco Unified MeetingPlace の Web 会議に参加するための要件

- Adobe Flash Player 7.0 以降。

Linux システムでは、デスクトップからの画面共有およびファイル共有を使用できません。これらのシステム上のユーザは、ホワイトボードまたは会議添付の共有、共有ファイルの表示、および注釈の追加を行うことができますが、システム上のファイルを他の参加者と共有することはできません。

- (オプション) WAV ファイル、WMA ファイル、または MP3 ファイルを再生するオーディオプレーヤー。

アップグレードの要件

レガシー システムを Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 6.0 にアップグレードする場合の要件は、次のとおりです。

- サポートされている Cisco MCS あるいは HP 製または IBM 製の完全な同等品。Cisco MCS の仕様については、<http://www.cisco.com/en/US/products/hw/voiceapp/ps378/index.html> を参照してください。



(注) HP 製または IBM 製の完全な同等品を使用していない場合は、サポートされている Cisco MCS で新規インストールとして Release 6.0 をインストールする必要があります。インストールの要件については、P.12 の「ハードウェア要件」を参照してください。

- Windows Server 2003 Enterprise Edition。
- Microsoft Internet Information Server (IIS) 6.0。
Microsoft IIS 6.0 は、Windows Server 2003 と共にインストールされます。
- SQL Server 2000 (SP 4)。
 - Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing には、SQL Server Processor License オプションが必要です。詳細については、Microsoft の Web サイトを参照してください。
- Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing Release 5.4 または 5.3。



注意

現在の参加 (click-to-attend) リンク、添付、および会議の記録を保持する場合は、SQL Server データベースを削除しないでください。現在のデータベースを削除または再構築すると、これらの情報がすべて削除されます。

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下の URL で最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下の URL からお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00